中学歴史プリント（過去問類似）
明治時代

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／8

問1 明治時代から昭和時代にかけて活躍した歌人で、情熱的な歌風の歌集『みだれ髪』を発表したほか、日露戦争に出征した弟の身を案じて「君死にたまふことなかれ」という詩を雑誌に発表し、当時の社会に大きな影響を与えた人物を選んでください。

（2025年　栃木公立入試　類似）

1. 与謝野晶子　**2.** 樋口一葉　**3.** 平塚らいてう　**4.** 津田梅子

問2 日露戦争直前の外交状況を説明した文章として、1902年に日本とイギリスの間で結ばれた同盟の背景や目的を述べたものとして最も適切なものはどれか。（2016年　秋田県公立入試　類似）

1. ロシアの南下政策による東アジアへの勢力拡大を阻止し、両国の権益を維持すること

2. 三国干渉によって遼東半島を返還させられたことに対し、ドイツ・フランスへ抗議すること

3. 韓国を保護国化し、朝鮮半島における日本の排他的な統治権をイギリスに認めさせること

4. 第一次世界大戦の勃発に備え、ヨーロッパ諸国との連携を強化して国際的地位を高めること

問3 明治時代に展開された自由民権運動において、運動側が求めた主な内容と、その背景にある考え方の組み合わせとして適切なものを選びなさい。（2019年　山口公立入試　類似）

1. 国会の開設と憲法の制定を求め、藩閥による独裁的な政治を批判した。

2. 納税額に関わらず全ての男子に参政権を認める普通選挙の実施を求めた。

3. 公害問題の解決を最優先課題とし、天皇に直接訴え出る行動をとった。

4. 内閣制度の廃止と、江戸時代のような将軍による政治への復帰を主張した。

問4 1895年に日本と清の間で結ばれた下関条約の調印場所について説明した文として正しいものはどれですか。なお、この場所は東アジアの地図において、中国大陸の北京や朝鮮半島のソウル、日本の東京といった都市と並び、本州と九州を隔てる関門海峡に面した交通の要所として位置づけられます。（2024年　長崎公立入試　類似）

1. 本州西端の山口県にある下関で、日清戦争を終結させるための講和会議が開かれた。

2. 当時の大本営が置かれていた広島で、清の代表と日本の全権大使が条約に調印した。

3. 古くから海外への窓口であった長崎で、朝鮮の独立をめぐる最終合意がなされた。

4. 九州の玄関口である福岡の門司で、遼東半島の割譲に関する交渉が行われた。

問5 明治時代の政治・外交における「地租改正の実施」「第1回帝国議会の開会」「ポーツマス条約の締結」という3つの出来事を、年代の古い順に並べたものとして正しいものはどれか。（2021年　鹿児島県公立入試　類似）

1. 地租改正の実施 → 第1回帝国議会の開会 → ポーツマス条約の締結

2. 第1回帝国議会の開会 → 地租改正の実施 → ポーツマス条約の締結

3. 地租改正の実施 → ポーツマス条約の締結 → 第1回帝国議会の開会

4. ポーツマス条約の締結 → 地租改正の実施 → 第1回帝国議会の開会

問6 明治時代の外交に関する次の3つの出来事を、年代の古いものから順に並べた場合、正しい順序の組み合わせはどれですか。

（2023年　青森県公立入試　類似）

1. 下関条約の調印 → 日英同盟の締結 → 関税自主権の完全回復

2. 日英同盟の締結 → 下関条約の調印 → 関税自主権の完全回復

3. 下関条約の調印 → 関税自主権の完全回復 → 日英同盟の締結

4. 関税自主権の完全回復 → 下関条約の調印 → 日英同盟の締結

問7 1890年代に国内での生産量が輸入量を上回り、日清戦争後には海外への輸出が本格化した、日本の産業革命を象徴する繊維製品は何ですか。1899年の輸出総額のうち、約13パーセントを占めていた品目として適切なものを選びなさい。（2015年　山口公立入試　類似）

1. 綿糸　**2.** 生糸　**3.** 綿織物　**4.** 石炭

問8 下関条約によって日本が清から譲り受けた遼東半島について、ロシアを中心とする3国が清へ返還するよう求めた出来事の背景と、その後の日本への影響として適切な説明はどれか。（2020年　愛媛公立入試　類似）

1. ロシアが自国の東アジア進出を有利にするために行い、日本では返還を屈辱として「臥薪嘗胆」を合言葉にロシアへの対抗意識が高まった。

2. イギリスが日本の勢力拡大を警戒して主導し、日本はこれに抗議するために清からさらに多額の賠償金を得ることで妥協した。

3. アメリカが東アジアの平和維持を名目に介入し、日本はこれを受け入れる代わりに韓国の併合を国際的に認めさせた。

4. フランスが清の領土保全を目的として提案し、日本は遼東半島を返還する代わりに樺太の南半分を領有することになった。

答え合わせ・解説

問1	**答え 1** **与謝野晶子**	歌集『みだれ髪』は、伝統的な形式にとらわれない情熱的な感情を表現した作品で、明治期のロマン主義文学を代表する金字塔です。また、日露戦争中に発表された「君死にたまふことなかれ」は、旅順の包囲戦に加わっていた弟に向けられたもので、国家主義的な空気が強かった当時において、個人の感情や命の尊さを真っ向から肯定した詩として知られています。樋口一葉は『たけくらべ』などの小説で知られ、平塚らいてうは青踏社を結成した女性解放運動の指導者です。
問2	**答え 1** **ロシアの南下政策による東アジアへの勢力拡大を阻止し、両国の権益を維持すること**	当時、ロシアは不凍港を求めて南下政策を推進しており、満洲を占領して朝鮮半島にも圧力をかけていました。日本は自国の安全保障の観点から、イギリスは清における自国の商業利権を守る観点から、共通の敵であるロシアに対抗する必要がありました。この同盟により、日本は日露戦争においてイギリスから資金援助や情報の提供を受けることが可能となりました。
問3	**答え 1** **国会の開設と憲法の制定を求め、藩閥による独裁的な政治を批判した。**	自由民権運動は、特定の藩の出身者が実権を握る「藩閥政治」を批判し、国民の意見を反映させるための議会（国会）の設置や、国の最高法規である憲法の制定を目指したものです。納税額に関わらず選挙権を求める動きは、後の時代の「普選運動（普通選挙運動）」にあたります。
問4	**答え 1** **本州西端の山口県にある下関で、日清戦争を終結させるための講和会議が開かれた。**	日清戦争の講和会議は、清の全権大使であった李鴻章（りこうしょう）を招き、山口県の下関市にある「春帆楼（しゅんぱんろう）」で行われました。下関は関門海峡に面し、朝鮮半島や中国大陸にも近い地理的条件を備えていました。この条約により、日本は初めての海外領土として台湾などを獲得することになります。
問5	**答え 1** **地租改正の実施 → 第1回帝国議会の開会 → ポーツマス条約の締結**	地租改正は明治初期の1873年に実施されました。その後、自由民権運動の高まりを経て1889年に大日本帝国憲法が発布され、翌1890年に第1回帝国議会が開会されました。ポーツマス条約は、1904年に始まった日露戦争を終結させるため、1905年にアメリカの仲介で結ばれたものです。なお、下関条約は1895年の日清戦争終結時の条約であり、これと混同しないよう注意が必要です。
問6	**答え 1** **下関条約の調印 → 日英同盟の締結 → 関税自主権の完全回復**	日清戦争の講和条約である下関条約は1895年に調印されました。その後、ロシアの南下政策に対抗するため1902年に日英同盟が結ばれ、日露戦争を経た明治末期の1911年、小村寿太郎によって関税自主権の完全な回復が達成されました。
問7	**答え 1** **綿糸**	明治時代の日本では、大阪紡績会社の設立などをきっかけに機械制生産が普及しました。1890年には綿糸の国内生産量が輸入量を上回り、1890年代後半には輸出量が輸入量を上回るなど、軽工業を中心とした産業革命が進展しました。これに対し、生糸は幕末から明治時代を通じて日本の最大の輸出商品でしたが、輸入量が生産量を上回るといった逆転現象は起きていません。
問8	**答え 1** **ロシアが自国の東アジア進出を有利にするために行い、日本では返還を屈辱として「臥薪嘗胆」を合言葉にロシアへの対抗意識が高まった。**	ロシアは不凍港を求めて南下政策を進めており、日本の遼東半島領有が自国の利益を妨げると考えた。日本はこの介入をきっかけに、軍備を拡張してロシアとの対決に備えるようになり、10年後の日露戦争へとつながる大きな要因となった。